

上福岡教会 CS こひつじ科 - 合同の礼拝式次第

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲： ワワワいっしょに (92番)

暗唱聖句：「というのは、神がお造りになったものはすべて良いものであり、感謝して受けるならば、何一つ捨てるものはないからです。」

テモテへの手紙一 4章4節

2022年4月10日

この礼拝の動画へのリンク：

<https://youtu.be/Mik1x5FYhLc>

- ・さんび：**40、かみよ このひ**（下を参照）
- ・おいのり（今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。）
- ・せいしょ マタイによる福音書 27章33～43節（新約聖書57頁）
- ・おはなし「十字架から降りてこないイエス様」 ローレンス・スパーリンク宣教師

今回の教会学校ではイエス様が十字架につけられた様子を聖書を読んで確認します。まず、今日の聖書箇所を一緒に読んでみましょう。ちょっと読みづらいところですよ。これは実際に起こった出来事です。読みながら、心の中で主イエスの様子を想像しましょう。

マタイによる福音書 27章33-43節

ゴルゴタという所、すなわち「されこうべの場所」に着くと、苦いものを混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはなめただけで、飲もうとされなかった。兵士たちはイエスを十字架につけると、くじを引いてその服を分け合い、そこに座つて見張りをしていた。イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。折から、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右にもう一人は左に、十字架につけられていた。そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって、言った。「神殿を打ち倒し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」同じように、祭司長たちも律法学者たちや長老たちと一緒に、イエスを侮辱して言った。「他人は救ったのに、自分は救えない。イスラエルの王だ。今すぐ十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう。神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救つてもらえ。『わたしは神の子だ』と言っていたのだから。」

何と言ったらいいでしょうか。読むだけで涙が出そうなひどい話です。イエス様の苦しみはどれだけひどかったことでしょうか。「苦いものが入っているぶどう酒」をイエス様は断ると書いてありますが、これは実は痛み止めの薬です。苦しみを和らげるものです。でも主は飲みません、苦しみを極めていのに。一体どうしてなのでしょう。イエス様は神様の愛する一人子ではありませんか。イエス様が天のお父様に祈れば、天の軍隊を送って、

イエス様をその苦しみから救い出すはずです。手と足に打ち込まれた杭からの傷も癒してください。そしてイエス様を侮辱する敵を滅ぼすでしょう。ローマの兵士だって、天の軍隊に立ち向かう敵はどこにもありません。でも、イエス様はそう求めません。十字架から降りません、そこで死ぬまで。これは何を意味するのでしょうか。

イエス様は逮捕されて、裁判にかけられて、何の悪いことをしていないのに、この十字架刑に引き渡されました。主イエスはことが起こる前に、その弟子たちに何回か予告した通りです。恐ろしくて苦しい状況ですが、イエス様はこうなることをご存知でした。けれども逃げもしないし、十字架から降りてきません。どうしてかという、これこそがご自分が天の栄光を離れて、約束された救い主として地上に生まれ、人々を教えたり、病気を治したりして、私たちの罪の負い目をご自身で支払うことになっていたのであります。神様に背く私たちの身代わりです。私たちが受けなければならない罪の裁きをこの方が代わって受けてくださいます。ある時、その弟子たちにご自身で次のように指摘してくださいました。「人の子（ご自身）は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」（マルコ 10:45）まるで奴隷だった者を釈放してもらうために、ご自身を差し出して、救うお方です。もし十字架の苦しみのあまりで止めておこうとお考えになるのであれば、私たちに救われる道がなくなってしまいます。でも、それは御心ではありませんでした。弟子のヨハネは福音書でイエス様の理解を次のように説明してくださいます。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」（ヨハネ伝 3:16）有名な言葉ですね。ありがたい言葉です。暗唱しましょう！イエス様が代わって死んでくださり、私たちが滅びる運命から永遠に生きる運命へと救い出してくださいます。「自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」と言われたイエス様がもしそうなさるのであれば、私たちの罪の責任、支払わなければならない罪の負い目が残ってしまいます。私たちが死刑犯罪人となってしまいます。

でも、イエス様は十字架から降りないことを決心しておられます。私たちの負い目を完済するまで、全部の責任を引き受けて完全に支払うまで、私たちの責任を引き受けてくださいます。そしてさらに、その苦しみを終えられた主は三日目に死者の中からよみがえられることになっていることをご存知でした。でも、これは来週のお話です！いかがでしょうか。私たちの救い主イエス様は他に誰にもできない救いの技を成し遂げてくださいました。なんとという素晴らしい救い主ではありませんか。感謝です！

・一言をご一緒に祈りましょう！

恵み深い 愛する天のお父様、私たちの罪が赦されるために、イエス様が代わってくださり、罪の裁きを引き受けてくださったことを確認しました。十字架の苦しみを思い切った主イエス様の技を感謝いたします。これほどまでに私のことを大事にして愛してくださいました。神様にただただ「ありがとう」というしかありません。主イエス様の大きな愛を知らされたのだから、これによって勇気付けられて元気に、神様の子供として歩む者になりたいです。ともに励み、他の人々にもこの救いの喜びを分かち合うことができるようにお助けください。イエス様のお名前によってお祈りします。 アーメン。

・けんきん：献金を取っておきましょう。会堂2階掲示板下の机にこひつじ科の献金箱を設置しました。教会に来られた時にこれを用いて まとめた献金を捧げましょう。

・さんび **27. わたしたちの罪のため**（下を参照）

いの もくとう かみさま すくって しん かんしゃ
 ・お祈り（黙祷をもって神様が救ってくださることを信じ、感謝しましょう。）

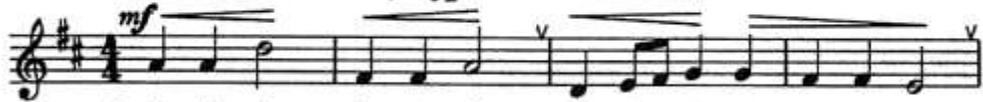
40 かみよ このひ

キーグストラ 原詞

相馬 恵助 訳詞 1966

オランダ 古曲

どっしりとおちついて ♩=92



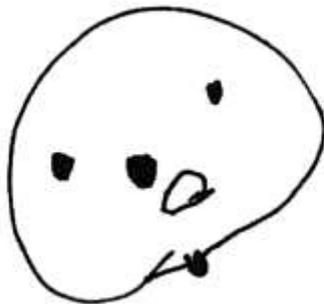
1. かみよ このひ おあたえください
 2. かみよ このひ おあたえください



みなを ほめる さんびのうたを
 ひとを ゆるす しゅゑスのあいを アーメン
 (祈り)

1. 神よ この日

おあたえください
 御名をほめる
 さんびのうたを



2. 神よ この日

おあたえください
 人をゆるす
 主イエスの愛を

27 わたしたちの つみのため

原作者不詳

花房 泉一 訳詞 1966

フィリッツ 作曲

かんしゃをこめて ♩ = 96



1. わたしたちの つみのため
 2. わたしたちを いまもなお
 3. わたしたちに みひかりを



- じゅうじ かに かか った しゅ へ ス さ ま
 おま も り く だ さ る しゅ へ ス さ ま
 あた え て く だ さ い しゅ へ ス さ ま

(苦難)

1. わたしたちの ^{つみ}罪のため

^{じゅうじ}十字架にかかった ^{しゅ}主イエスさま

2. わたしたちを いまもなお

おまもりくださる ^{しゅ}主イエスさま

3. わたしたちに ^{ひかり}み光を

あたえてください ^{しゅ}主イエスさま